

## 「どうぞ」はドキドキする

兵庫県 愛徳学園小学校 1年 大西 知澄

わたしは、小学校まで、でんしゃとバスにのってどうこうしています。1年生のわたしは、せもひくく、力もあまりないので、まいにちおもいランドセルとおべんとうの入ったバッグをもって、でんしゃにのるのは、たいへんです。

でんしゃでは、いすとかべについている手すりしか、手がとどきません。でんしゃはゆれるので、手すりをもたないとこけてしまうのですが、あさのでんしゃがこんでいるときに、手すりをさがすのはたいへんです。

でも、わたしがでんしゃにのると手すりのぼしょをゆずってくれる人がいます。いつも、「ありがとうございます」と、ひとことしかいえませんが、この中ではなんども「ありがとうございます」といっています。そして、うれしい気もちでいっぱいになります。

6月になって、小学校のおかえりのバスにのっていると、ていりゅうじよでおばあさんがのってこられました。わたしはすわっていて、ほかのおせきもあいていませんでした。

いつも、学校でもじたくでも、『おとしよりや、けがをしている人、あかちゃんがいる人には、おせきをゆずりましょう』とおしえてもらっているのですが、そのおばあさんにおせきをゆずろうとおもったとき、きゅうにドキドキしました。おせきをゆずるのに、ドキドキするとはおもっていなかったのですが、びっくりしましたが、ゆうきをだして、

「どうぞ、すわってください」

といって、おせきをたちました。おばあさんは、

「いいの？ありがとう」

といって、すわってくださいました。すわってもらって、ドキドキがスーッときえて、うれしいきもちにかわりました。

じたくにかえってから、おせきをゆずれたことを、おかあさんにいうと、たくさんほめてくれました。ドキドキしたこともおはなしすると、「おかあさんもドキドキするのよ」と、いっていました。

わたしは、知らない人に「どうぞ」をするのは、大人でもドキドキして、ゆうきがあるんだなあ、おもいました。

でんしゃで、手すりのぼしょをゆずってくださいる人も、ドキドキしているのかなあとおもうと、よけいにうれしいきもちになりました。